

# あかし教育研修センター通信

## 学び続ける教師になるために **初任研**

2月12日(火)中核市として  
はじめて行う年間14回の明石市  
初任者研修を終えました。

研修を終えるにあたって、初任者の今の思いをピックアップしてみました。「この1年間は、階段を登っているような毎日でした。立ち止まることもありましたが、とても充実した日々でした」「教師になることが、自分の夢の

ゴールだと思っていましたが、ゴールでなくスタートラインに立ったのだと、この1年で学びました」「授業においても、学級経営においても、頑張ったら、頑張っただけ“子どもの笑顔”というご褒美がもらえた1年でした」「どんな小さな役割でも意味があり、自分の財産になるという先輩の言葉に納得しました」「教師として一から始まって、やっと1年が終わりそうです。自分の感情が激しく動いた大変な1年でした」「去年までと生活が大きく変わりました。教師という仕事は思っていたよりずっと大変でした。まだまだ分からないことだらけです」「本当にたくさんの方に支えていただきました。折にふれ、はげましの言葉をいただいた1年間でした」等々・・・

4月に初々しい表情で“あかし教育研修センター”での着任式を終え、各学校へ赴任した初任者一人一人がこの1年間で、思い、悩み壁にぶつかりながらも、それぞれが持てる力を精一杯発揮した1年だったんだなあということが伝わってきました。中核市になってはじめて実施する初任者研修初年度。当センターにとりましても、手探りの中、初任者一人一人の成長に寄与できるプログラムを考えてまいりました。

第14回初任者研修では、「この1年間の研修を振り返り、成果と課題を整理すること」をテーマに研修のまとめを行いました。公家所長より「初任者研修を終えるにあたって」の挨拶、廣岡課長から「学び続ける教員になるために」の講話を行いました。

その後、14回の研修を映像でふりかえり、『1年目の私』から、『2年目以降の私へ』どのようなめあてを持ち、それをどのような手立てで実現していくのかを考え、自分の目標管理シートを作成しました。「授業は・・・」「教材研究は・・・」「学校の中での自分の役割は・・・」2年目以降の成長が大いに楽しみになりました。

午後からは、夏休みに明石市の初任者を代表して被災地派遣研修に参加した大久保中学校の宮崎翔太郎教諭から「東日本大震災被災地を訪問して」と題した報告を聞きました。阪神・淡路大震災が発生した頃に生まれた世代が、様々な災害を見つめ、自分のことととらえ、次世代に伝えていく役割を自覚した時間でした。

初任者は、1年間の研修を終えて、各学校の貴重な戦力として活躍してくれるものと期待しています。今後、各学校のOJTの中で更に成長させていただきましようお願いします。1年間、初任者研修にご協力いただき、ありがとうございました



発行：あかし教育研修センター

〒673-0882 明石市相生町2丁目5番15号 明石市役所北庁舎(旧保健センター)

TEL: 078-918-5815 FAX: 078-918-5817

E-mail: ed\_center@city.akashi.lg.jp



過去の通信を見ることができます。